

【卒業生】2025年度 大学

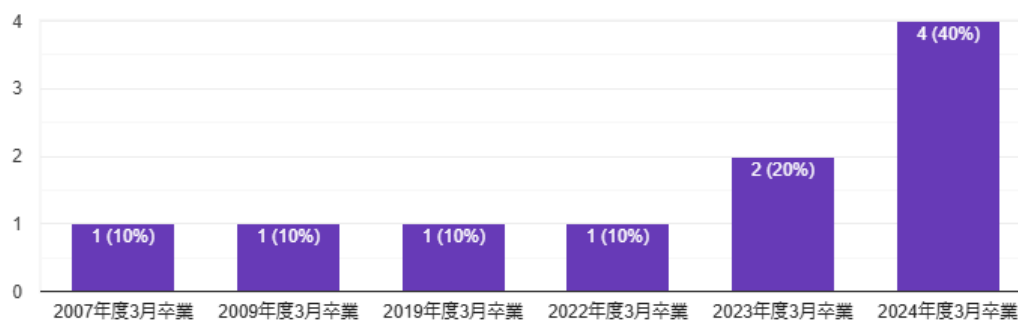
「学習成果に関わる外部評価
—学位プログラムの学修評価を把握するための卒業生調査—」回答

2025.9.2

◆ 外部評価（卒業生）

回答者については、服飾学科各コースより1名ずつ合計6名の回答、また服飾表現学科は4専攻から卒業生1名ずつ4名の回答、合計10名の参加をいただいた。

◆ 問1 卒業年度



◆ 問2 所属コース・専攻

●服飾学科

モードクリエーション
インダストリアルパターン
テキスタイルデザイン
プロダクトデザイン
FB マネジメント
流通イノベーション

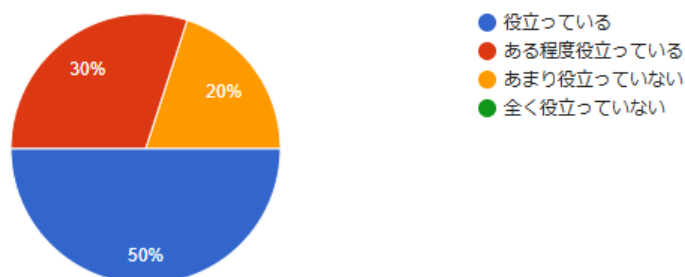
●服飾表現学科

衣装表現
スタイリング
VMD
メディア表現

◆ 問3 現在の会社名と会社業務内容

- JFW テキスタイル事業事務局と有限会社 K ラボラトリーの業務委託でフリーランスで活動中。
 - ・ 業務内容は素材展会のコーディネーター業務、2つの展示会の管理、「Fabrica Nippon S/S と A.W」 <https://www.klaboratory.net/> 「Tokyo Textile Scope」
 - ・ 事務局運営サポート
 - ・ シーズンディレクションコーナー&トレンドコーナーの管理・装飾
 - ・ 出展者からの提出物の管理、来場者管理とデータ集計 等
- 株式会社 TSI ホールディングス
 - ・ 衣料品の企画・生産・輸入並びに専門店・百貨店への卸売及び直営店での小売販売
- 株式会社 EmpaC
 - ・ SNS マーケティングサービスを提供している会社。
- 株式会社コンバースジャパン
- 株式会社インファス・ドットコム
 - ・ 「ファッション通信」という番組の AD、また、他映像作品の制作業務。
- TOKYO BASE 営業
- 株式会社コードスリー 衣装レンタル店の店頭業務
- 米富繊維株式会社
 - ・ 会社業務内容:ニット製品の製造、販売
- 株式会社ケイ・エム・クロージング
 - ・ OEM / ODM の商品企画
- 株式会社マッシュスタイルラボ
 - ・ 企画デザイナー、トレンド会議、どんなアイテムを展開するか会議、デザイン出し
素材集め、色出し、絵型など
 - ・ サンプル修正、仕様やサイズ感、刺繍やプリントの図案修正、色修正など
 - ・ サンプル修正内容をプレスや EC 担当へ共有、納品前製品の検品
 - ・ 指示通りの色、デザインで上がっているか、乱寸がないか

◆ 問 6 授業の実社会での活用性について



◆ 問 7 実社会で役に立っていると感じる在学中に受講した授業科目や学修内容

- ・ 素材の基礎知識
- ・ 衣服材料学での洋服の素材名生地の繊維についての特性を学べたことや、スタイリング専攻で受講した学修内容全般。
- ・ SWOT 分析等のビジネスにおける分析の仕方。
- ・ 職業柄、SNS を実際に使用した授業。
- ・ 各ビジネスコンテストへの参加を通して得た経験
- ・ 自分の意思を伝える事がトレーニングできていた事。
- ・ Photoshop や premiere Pro などの Adobe 製品の基本は大学で触る機会があり、とても助かりました。
- ・ VMD や縫い物
- ・ 衣服材料学
- ・ インダストリアル I ～ V で様々な形の服を作成したことは、今も服を作るヒントになっています。
- ・ 生地について学べる授業。
- ・ 企画系の授業で習得した考え方や人への伝え方（話し方）。
- ・ 服飾造形の授業
- ・ 製図や縫製の授業が役に立っています。

◆ 問 8 実社会で仕事を進める上で、不足あるいは必要と感じる授業科目や学修内容。

- ・ 素材の基礎知識をしっかりと固めること、グローバルな世界で活躍できる自分自身の自己表現。
- ・ アパレルであれば、洋服の素材名とその特性を学んでおくことはとても役に立つので必要だと思う。
- ・ 電話の取り方やメールのやり取りなど
- ・ 素材の知識、イラストレーターの技術。
- ・ 入社先が研修が無い会社だったため、社会人マナー（電話の出方など）大学で学ぶ機会

があっても個人的にはよかったかと思います。

- ・パソコンの使い方とくに Excel など
- ・デザインの名称やディティールの学習、トレンドの学習
- ・量産服を作る上で最初の情報が絵型と、身丈や身幅などの寸法なので、寸法から割り出してパターンを引く、というようなことが必要だと感じました。
- ・生地や繊維についての授業。
- ・もう少しリアルで実践的な体験授業があると良かったと思う。
- ・素材の話だけでなく、生地の授業があると良かったと思う。
- ・トレンドや社会の動向を学ぶ授業があればよかった。
(また、実際に各自調べて発表するなど)

◆ **問9 現在感じている在学中に受けておきたかった授業科目や学修内容。**

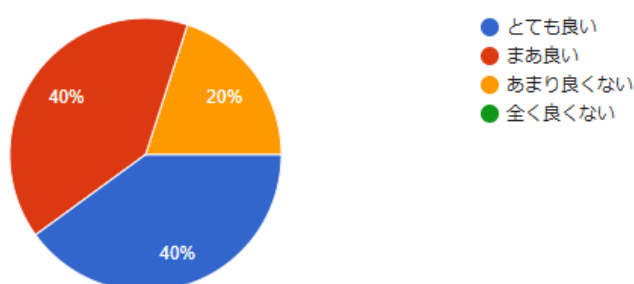
- ・ファッション・テキスタイル業界の幅広い業種の話&コミュニケーション
(外部の人の話・講師 等)
- ・英語や中国語の授業
- ・企業や特別講師の説明(やっていること)ではなく、目的を設置した学びができる授業。
(説明を受けて終わりではなく、最初に授業の目的を提示しその目的に向かって学び、応用を最後に考える、聞いて終わりにならない授業)
- ・問8と同じ回答です
- ・特にありません。
- ・特にありません
- ・VMDについての知識など
- ・コートなどの大物を多数制作すること。
- ・物ができるまでの一連の流れを学べる授業。
- ・ビジネス系の授業科目や、数字に関する授業

◆ **問10 今後必要性が高まると思われる授業科目や学修内容**

- ・グローバルな世界で活躍できる自分自身の自己表現。そのために基礎が大切で、ファッション&テキスタイルが好きである事。
- ・語学系の授業科目は必須だと思う。
- ・AI ツールの活用法 (答えではなくヒントを出してもらうものであるということ、そのヒントを出してもらうためのAIに対する適切な質問の投げ方)
- ・プレゼン能力
- ・特にありません。
- ・パソコンを使った授業
- ・情報演習の授業を更に強化し、インターネット社会への適合を図る。

- ・社会に出るにあたり正しい言葉遣いやメール、電話対応等の一般常識の学習も今一度行うべきだと感じた。
- ・CAD が出来ることは必要なスキルだと思います。
- ・1人でものづくりを通して見れる力をつける授業。企画や生産だけでなく、全体的に学ぶ力
- ・SNS 関係の授業は必要性が高いと思う。

◆ 問 11 学修の段階や年次構成について



◆ 問 12 そう思った理由 (評価できる点、要改善点など)

- ・基礎がしっかりしている
- ・しっかり段階を踏んで次のステップに行くことができるので成長を感じられたため。
- ・1年次に全コース共通で歴史や衣服製作を学ぶことができるため
- ・内容の感想ではなく、業界的に杉野卒業生が少なく感じるため。
- ・私の時の感想ですが、表現学科のそれぞれのコースに分かれるのがもっと早くてもよかったですと思いました。もう少し早めの触れて、深められたらもっと面白そうだと思います。
- ・実際にやってみて思ったから今では何も覚えてないレベルだった。
- ・学修の流れについては、段階を踏み知識を得ることができるため良いと感じる。
- ・一部授業に関して内容が重複しており、その時間を他の学習に当てたいと考えていた。
- ・1年間は基礎を学べることと、3年間専門科目に集中できるところが良いと思います。
- ・一年目で服作りを学べた事は良かった。ファッション業界で何をしたいのか明確になった。
- ・しっかりと年次ごとに段階を踏んでおり、復習しながら新しい学びがあったと思う。ただ、ついていくのが難しい部分もあり、助手の先生がもっと増えると良かったと思う。

◆ 問 13 在学中に学生が身につけておくべき資質や能力

- ・人とのコミュニケーション
- ・興味のある資格などに挑戦してみる事や様々な語学に触れておくことは大切だと思う。
- ・目的や理由を持って行動すること
- ・語学力
- ・考える力
- ・英語、パソコン、想像力
- ・とにかく知識をつけておくべき。知識を身につけ、思考を行うことにより結果が出ることもあると感じる。また、職種によって異なることとは思うが、技術力よりも思考力、発想力、0 から 1 でも、1 から 100 でも生み出す力を養うべきだと感じる。
- ・量産向けの考え方になってしまいますが、基礎を学んで自分のものにするのが一番大切だと思います。基礎を着実にこなしていく、与えられた課題に対して丁寧に取り組む能力、 $+α$ で、作ったものに対して第三者から意見をもらい、良い点・悪い点を自分で見極められるようになること。
- ・言われたことを素直に受け止める力。尚且つ、自分で考えて、噛み砕く力。
- ・デザイナーを目指すのであれば、様々なブランドを定期的にチェックし、デザインの可能性やトレンドを学ぶ。また、パターンが完璧に引けるようにというよりは、頭でなんとなくのパターンが浮かぶようにするために、パターンはしっかり学ぶべきだと思う。また、アパレルならどの職種でも今どんなものがトレンドで、何月に何が売れるなどの動向をしっかり追えるようにするべきだと思う。

◆ 問 14 広く人材として実社会が重視していると思う点

- ・コミュニケーションがとれ、自己表現力ができる人。やはり良い意味で日本人は控えめ。素直に人の意見を聞ける方。人間の基本ができる方。
- ・コミュニケーション力積極性
- ・考える力と選択肢を持つ力。
- ・提案時に細かく自分の意見を持っておくことでスムーズに進む。
- ・コミュニケーション能力
- ・人柄、その人らしさ
- ・今理解した事をすぐ行動できる人
- ・身体表現のような授業で恥ずかしがらずにすぐ先生の言われたことをできる人。人は言われたことをワンクッションおいてやるが、それが無い即断な人
- ・自らを売り込むことのできる力。
- ・自信が将来に繋がると感じる。
- ・その為には日々の学習により自分に自信をつけることが重要だと考えた。
- ・第一にやる気があること、学んできたことにこだわりすぎず、新たな考えを吸収してア

ウトプットできる柔軟性を重視していると思います。

- ・色々なことに疑問を持って動ける人。言われたこと以外を考えて行動できる人。
- ・どんな仕事でも、円滑にコミュニケーションができないと能力を発揮することが難しいため、人に伝える力や人の気持ちや考えを理解する力を重視していると思う。

◆ **問 15** 今後ファッション業界でどのような知識やスキルが必要になるとお考えですか

- ・基本は変わらないと思います。基礎が大切。それを知った上で流れえを取り込む。
- ・SNS を使いこなせるスキルやクリエイティブな創造力が必要になってくると思う。
- ・ファッション業界にいないため回答が難しいです。すみません。
- ・現役の方との触れ合いが何より成長につながります。
- ・英語、ものづくりの本質
- ・この点は分からない
- ・移り変わるトレンドに対応のできる柔軟な考え方。
- ・意見を素直に吸収できることと、何事にも疑問を持って問題解決する能力が必要だと感じます。
- ・生地についての膨大な知識と、先を見通す提案力。
- ・ファッショントレンドだけでなく、感染症や地球温暖化などの環境問題や、推し活や AI などの社会的トレンドなど、社会の動向をいち早く情報収集し理解する力が必要になると思う。それが、ファッションスタイルへの影響に繋がったり、ヒット商品を生み出すことや話題性のあるイベント開催など、様々なことに繋がっていくと思う。

◆ **問 16** 今後どのような人材育成や教育が必要になるとお考えですか

- ・コミュニケーション力を高める教育
- ・海外の方との交流が増えていると思うので、日本語や英語だけではなく他の言語の語学スキルももっと必要になってくると思う。
- ・目的・本質を理解してブレずに行動できる人を育てる教育
- ・問 15 と同回答（※現役の方との触れ合い）
- ・柔軟な考え方を育てる
- ・SNS 関連
- ・適応力のある人物。先の記述にあるように、自らに自信をつけるような教育によりあらゆる社会に適合でき、必要とされると考える。
- ・服を作ったら終わりではなく、作ったものに対してフィードバックを的確に細かく指導することが大切だと思います。
- ・もっと幅広く深いところまで知れる授業。表面的、自分にとって 1 番身近な販売だけでなく、貿易など深くまで知っている人。
- ・何事も自主的に考え行動できるような人材育成、又発言力を養う教育が必要だと思う。

- ◆ 問 17 本学では現在、①画像生成 AI やファッションテック等のデジタルスキル、②産学連携等の企業連携 による実践型教育、③ファッション 3D モデリング (CLO)等、④ビューティ&ウェルネス等の学 修領域を強化しております。この点に関して、ご意見やアドバイスをいただきたいと思います。
- ・ 今後、AI を使いこなす事は重要なポイントだと思うので、良いと思います。
 - ・ 私も在学中にもっとデジタルスキルやビューティー&ウェルネスについての知識やスキルを身につけたかったと思っているので、在学生にとって①～④の授業内容は将来確実に役に立ち活かしていけるとと思います。
 - ・ 現代と未来に必要となる領域だと思うので全て良いと思います。
 - ・ いかにかに生徒に「楽しいからもっと学びたい」と思ってもらえる授業内容/構成にするかが課題かなと思います。せつかく強化するなら意味のあるものにしてほしいので。
 - ・ 全てやった方が良いと思います。
 - ・ 良いと思います。番組をやっていると、AI を活用して、自分のアイデアの参考にされているデザイナーもいると知りました。使える方が今後のためになると思います。正しい使い方、正しい距離感を学べば、使えた方が良いと思います。
 - ・ まずは、どの授業も先生の趣味程度で教えるのではなく先生として立派になってから教えて欲しい。結局先生の好き嫌いで評価される、教え方が絶望的に下手、年齢が高い人ばかりで信用性がない。教えるということに責任をもっと持って欲しい。これがちゃんとしてないと何の授業を取り入れても何の意味もない。私たちは期待を持って入学してて、先生に教わったことが全てだと思ってしまう。
 - ・ ①正しいインターネットリテラシーの教育が必要だと考える。著作権問題や AI を過信しすぎてしまう人が未だ多いと感じる。正しく使用すれば新たなアイデアの発見となったり、作業の手助けになったりと強い味方になる存在になることと思う。
 - ②実際の社会や現場に触れることは極めて重要なことと日々感じる。
 - ③時代に合っていて良いと感じる。実際に制作する前にイメージを掴めることによって限りある資源への配慮にもなることと思う。使ってみたかった。
 - ④とても良いと思う。生活の乱れがちな大学生というぴったりの時期に学習ができることは今後の意識にも繋がると感じる。
 - ・ ②産学連携で実際に企業とコラボしてファッションショーまで出来たことは今でも勉強になったと思います。ただ、やっている学生の熱量に個人差があり、また、学生同士コミュニケーションに難しさがあった。また組先企業があり、中身の厚い授業のため仕方ないが、出来れば、全て時間内に完結できる内容、時間配分だとより良いと思います。
 - ・ ②産学の授業では、実際に服が生産される部分も勉強に取り入れてみても良いと思う。企画から販売のみならず、生産の部分の勉強が加わると、何にお金がかかるのか知ることができる。

- ・①実際にアパレル業界でどのようにテクノロジーを導入しているのか、実際に見学や体験ができると良いと思った。
- ・②実践できる機会があるのはとても良いと思った。「自分がやりたいこと」ではなく「企業や顧客が求めること」の中で自分らしさを引き出す練習ができるともっと良いと思う。(学校では好きなものに偏りがちなので)
- ・③どうやって伝える手段に活かせるのか、自分の頭の中の考えをどのくらいリアルに表現できるか学べると良いと思う。
- ・④自分にとってのウェルネスが何か考え、それをどんなふうに活かしていけるか発表する機会があるといいと思った。

◆ 問 18 振り返ってみて本学で学んで良かったと思う点

- ・ 織の知識
- ・ 4年間をかけてファッションに関わる幅広い分野を学べ自分の好きを見つけられた点。
- ・ ファッションのみでなく、ファッションとつながる他の分野についても学べたこと
- ・ 自身で考えるきっかけがたくさんあった。
- ・ VMD について
- ・ 自分の興味のある分野について専門的に学ぶことが出来てよかった。また、表現学科に関しては、2年次に自らの学習したい分野以外についても触れることができ新たな視点を得ることができて良かったと感じた。
- ・ 第一にドレメ原型を学んで良かったです。
- ・ 2年次にコース選択ができたこと。座学ばかりでなく、自分から動くことが多かった点。
- ・ パターンや縫製を丁寧に学べてよかった。

◆ 問 19 本学の強みだと思う点

- ・ 先生との距離感が近い
- ・ 専門分野を深掘りして学べる点。
- ・ 4年生大学で服飾を単科で学べる点
- ・ 専門性がありながら大学である事。
- ・ 幅広く色々なことを学べる。
- ・ 四年制大学で服飾について専門的に学ぶことのできる学校は限られているため、強みになると感じる。
- ・ 学科やコースが多く、自分の学びたいことを専門的に選べることも強みであると思う。
- ・ 1年間は基礎を学んで何をしたいか考える時間があること、3年間専門科目を学べる点が強みだと思います。ドレメの原型、教科書はどこでも使えると思います。
- ・ 先生との距離が近く、就活についての相談がしやすい。生徒数が少ないため、意欲があればなんでも参加できる。

- ・教員の方との距離が近く、アットホームで相談しやすいのが強みだと思う。

◆ 問 20 本学の弱点だと思う点

- ・自己表現力の育成
- ・特にありません。
- ・授業 1 コマ 1 コマに目的が明確に立っていないこと。
- ・生徒のやる気があまりないこと、逆に言えばやる気を引き出せていないこと
- ・回答なし。
- ・やる気ない子が多く、やりたいことの実現に時間がかかったり、自分だけの意見で進んでしまったことがあった。
- ・生徒の意見をあまり聞かない。行動にうつさない。
- ・私はショープロデュースの授業で杉野ホールを使わせてもらえなかったことにびっくりしました。何のためにあるのか、意味がわからない。そして、使わせてくれと言うのを直談判したいと言ったのにそれもさせてくれなかった。
- ・必修、授業数、開講キャンパス等の問題で、選択科目もほぼ必修科目のようにいくつかの授業しか選べない、と選択の自由が少ないように感じていた。
- ・パターン検定等の資格取得に対するサポートが充実していないこと。
- ・生産現場に近い授業が少ない。綺麗な点ばかりを知れる授業で無く、もっとモノ作りの大変さを知っても良いかもしれない。その意味での専門性が少し薄い。
- ・個人で自分のブランドを立ち上げたい人にとって有益な学びが少ないと感じた。

◆ 問 21 その他、ご意見やアドバイス

- ・特にありません。
- ・なかなか難しいと思いますが、外部の展示会やショーに出展したりして、他の学校との交流があると自分達に足りない物や刺激をもらえる。
- ・特にありません。
- ・インターンとして、ファッションウィーク期間中に、弊社に表現学科メディア専攻の学生が来ますが、年々人数が多くなっており、いる場所もなくやることもないので、会社側は困るし、行く方も自分は申し訳ない気持ちになったことがありました。見直した方がいいと思います。
- ・特になし
- ・特にありません
- ・ドレメの教科書は仕事でも活用しています。今になって理解できることが沢山あり、学生時代は教科書の内容を全て理解できていなかったのも、もっと学生のうちに学んでおけばよかったと後悔しています。教科書通りに、細かく学べる機会があれば良いと思いました。

- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・SNSを学ぶために、SNSを運営するサークルなどがあると面白いと思った。
- ・在学中はありがとうございました

以上